

日本遺産 北前船寄港地・船主集落

加茂の歴史と魅力

あなたはどこまで知っている???

2023年3月25日(土) 午後2時~4時

加茂地区の町並み(写真提供:鶴岡市観光物産課)



北前船

講師：升川 繁敏 氏

(鶴岡市史編さん委員、加茂の文化遺産を愛する会、元加茂小学校長)

会場 致道博物館 旧鶴岡警察署庁舎ホール

内容 北前船で繁栄を極めた加茂地域の歴史、町並みや港の移り変わり、実は楽しい「加茂まちあるき」のポイントなど、加茂を深掘りします。さらに、酒田や清川との海運・舟運・陸運など、庄内の物流も解説。

参加 電話でお申込みください。参加無料ですが、別途入館料が必要です

鶴岡市・にかほ市・由利本荘市
3市連携交流企画 第1弾

展示は4月9日(日)まで!

主催：公益財団法人致道博物館
共催：鶴岡市北前船日本遺産推進協議会
協力：秋田県にかほ市教育委員会
秋田県由利本荘市教育委員会



致道博物館
CHIDO MUSEUM

山形県鶴岡市家中新町10-18 ☎0235-22-1199
入館料 一般800円/高大生400円/小中生300円
※企画展・常設展料金を含む。団体料金等有り
時間 9:00~17:00 ※2月中は16:30閉館



北前船

●日本遺産●

企画展のほかに!!

致道博物館の北前船資料群は「民具の蔵」で常設展示しています。

荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間
—北前船寄港地・船主集落—

海運に欠かせない道具類



和磁石⇒和船独特の磁石。海上では、本針と逆針の2種類を用いた。

竹製望遠鏡
⇒船頭が海上から陸を見る時や、船間屋が陸から船を識別する時に使った。

奉納品① 船絵馬



ぶ厚い樺材に7艘の舟才船を描いた大絵馬。(当館寄託)



看板各種

【左】「海船問屋」
【中】「附船水夫宿」
【右】「問屋」



手あぶり⇒船中で使われた火鉢(暖房具)。船が揺れても中の火入れ部分は安定するように作られている。

鶴岡市・にかほ市・由利本荘市 3市連携交流展示 第1弾 出品資料

比べてみると違いがわかる土地の歴史と湊の特徴。各市の日本遺産資料を展示中です!



「鶴岡より蝦夷浜益毛道中記」
⇒元治元年(1864)、庄内藩士による蝦夷地浜益毛(現北海道石狩市)までの道中記。本展で連携している3市の場面を紹介。



船絵馬
⇒文政8年(1825)に寄進された「権現丸」の船絵馬。



北前船模型
※船の仕組みや部分名称もパネルで紹介

船筆筒(帳箱)
※とびら・引出し、開けてます! 二重箱も。



いろいろな船筆筒



帳箱(ちょうばこ) ⇒金庫・帳簿入。
懸硯(かけすずり) ⇒手提げ金庫。



船鑑札⇒船の識別に用いるために船籍を記した札。

重要なつた



出船手形⇒通行を保証するための木札。

奉納品② 船模型



北前船奉納模型(江戸時代末期・舟財船)
⇒船主が安全を祈願して奉納した船の模型。実物の1/6の大きさ。(加茂・春日神社寄贈)

北前船の資料があるのは…

企画展示 ⇄ 常設展示

日本遺産「サムライゆかりのシルク」構成文化財



旧庄内藩主御隠殿 重要文化財 旧西田川郡役所 重要文化財 旧渋谷家住宅 重要文化財 旧鶴岡警察署庁舎 重要文化財



民具の蔵

Chido Museum Information



美術展覧会場 (企画展会場)

重要有形民俗文化財 収蔵庫

国指定名勝 酒井氏庭園



- JR鶴岡駅より
バス10分
「致道博物館前」
下車徒歩2分
- 山形自動車道
鶴岡ICより
車で5分
- 庄内空港より
車で20分



致道博物館

CHIDO MUSEUM

〒997-0036 山形県鶴岡市家中新町10-18
電話:0235-22-1199 FAX:0235-22-3531
https://www.chido.jp/ E-mail:infochido@chido.jp

「致道(ちどう)」の名称は庄内藩校致道館に由縁し、出典は『論語』で「君子学んで以て其の道を致す」です。

